

風水害・土砂災害に備えて

これからの季節、大雨や台風等による水害、土砂災害が心配されます。
災害から身を守るには、正確な気象情報を入手し、万全の対策をとることが大切です。



●土砂災害に気をつけよう

土砂災害は、大雨や地震などによって弱くなった斜面が、がけ崩れを起こすものです。
特に梅雨や台風の時期は注意が必要です。一般的に、1時間に20ミリ以上または降り始めから100ミリ以上の雨が降り続いたら、がけ崩れの危険性が高まります。

●土砂災害の種類

①がけ崩れ

地面にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。

//////こんな前ぶれに注意！//////

- ・小石がパラパラ落ちる
- ・がけから水がわく
- ・がけに亀裂が入る
- ・がけから音がする

②地すべり

比較的緩やかな斜面で粘土などの滑りやすい層を境に、その上の土がそっくり動き出す現象。

//////こんな前ぶれに注意！//////

- ・地面にひび割れができる
- ・井戸や沢の水が濁る
- ・がけや斜面から水が噴き出す
- ・地面の一部が陥没する

●家の中や周囲をチェックしよう

- 家の中 ・気象情報、防災機関等の広報を注意深く聞く ・外出はしない
・家族で避難場所や連絡方法の確認をする ・非常持出品を確認する
- 家の外 ・屋根、外壁、窓、雨戸等に破損箇所が無い確認 → 破損箇所は修理しておく
・ベランダや庭の鉢植え、物干しざおは飛ばされないように屋内へ



御前山女性防火クラブ

～私たちのまちは私たちが守る～

このクラブは地元の女性たちで構成され、住民が安心して暮らせる地域をつくるため、日々活動しています。

消防機関と地域の連携を密にし、防火・防災リーダーの一員として火災予防の知識・技術を習得し、災害等から地域を守り、明るい安全な地域社会を築くことを目標としています。

[主な活動内容]

▶研修事業

- ・普通救命講習会参加及び訓練指導
- ・防火思想の普及推進を図るためクラブ員による視察研修会

▶訓練

- ・応急手当訓練（忘れてしまいがちな応急手当や心肺蘇生法を反復訓練する）
- ・初期消火訓練（消火器や屋内消火栓の取り扱いを訓練する）

▶防火思想・普及啓発

- ・地元の小学校主催の防災訓練に参加し、防火思想の高揚を図る
- ・訓練や講習会で習得した火災予防の知識・技術を普及啓発する
- ・一般家庭への消火器、住宅用火災警報器の設置促進を図る



女性防火クラブ員
募集中！！